

まつもと じゅん
松本純

中区・磯子区・金沢区
**まちかど
政治版**

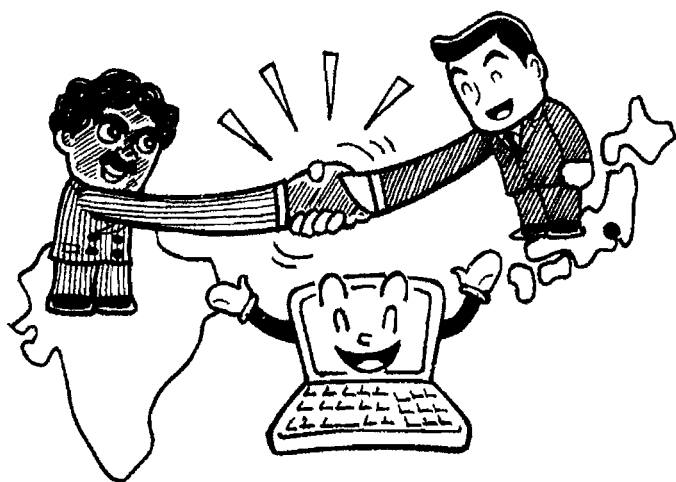


平成18年12月1日号
発行 かながわ1区支部
編集長 平木 茂

12月号
2006年
No.46

松本純ホームページ 毎日更新中！ [http:// www.jun.or.jp](http://www.jun.or.jp) ▶検索キーワード「松本純」

横浜にインド系国際スクールが2008年に開校！ 中国・韓国、そして今、インドとの交流が進みます



横浜にインド人の子供たちを中心とするインターナショナルスクールが開校することになりました。横浜市の中田宏市長がシンガポールに拠点を置く「グローバル・インディアン・エデュケーション・ファウンデーション（GIEF）」との間で横浜誘致に関する覚書に調印したもので、2008年春開校の予定です。

インドは10億人の人口を擁し、21世紀の大国、IT（情報技術）大国といわれます。IT企業を中心に日本に進出する企業も相次いでおり、

日本の首都圏に住むインド人は約1万人で、この6年間で倍増しています。このうち横浜を中心とする神奈川県内には約1100人のインド人が住んでいるそうです。

インドの子供たちが通える学校が横浜にあれば、インド企業も安心して横浜へ進出できるわけです。中田市長はシンガポールでの調印後インドを訪れ、インド企業約100社が参加する投資セミナーを開催しましたが、インターナショナルスクールの横浜開校は、インド企業の横浜進出に大きなはずみをつけることになるでしょう。

日印の技術交流については、私も微力ながら先導的な役割を果たしたと自負しています。小泉内閣で総務大臣政務官を務めた私は平成16年7月、麻生太郎総務大臣の指示でインドを訪問しました。日印間のICT（情報通信技術）協力について意見交換を行うためでした。

このときミシュラ通信情報技術省次官と確認しあったことをもとに翌月、麻生総務大臣とインドの通信情報技術大臣との間で、ICT協力文書が取り交わされました。小泉内閣が強力に進めた日印間の技術協力は安倍内閣に引き継がれており、12月にはインドのシン首相が訪日する予定で、日印交流は一気に加速されそうです。

横浜では「横浜インドセンター」設立に向けての動きも本格化しています。市内の企業や経済団体を中心に神奈川県、横浜市などで設立協議会を発足させ、スクール開校と同じ2008年の設立を目指しています。高まる横浜・インド双方向の経済・文化交流。私もその交流に一役買ったひとりとしてサポートしてゆきます。

松本議員の国会レポート ③⑤

平成18年

【11月12日(日)】

- 午前10時 ●実践倫理宏正会湘南東ブロックの集い
- 午前11時 ●第32回野毛大道芸
- 午後1時 ●梶子会2006年度会員の集い
- 午後3時20分 ●千葉県薬剤師連盟第8回薬連セミナー
- 午後7時 ●峯尾ゆづる決起大会

秋の野毛大道芸が開かれました。前日は終日雨で中止。この日はうってかわった晴天で、野毛本通り、野毛坂を中心に外国人パフォーマー4組を含む計20組が9ステージで妙技を披露しました。かつて私は実行委員長を務めたこともあり、大道芸という血が騒ぎます。多くの大道芸ファンにわが街・野毛に足を運んでいただけたのも嬉しいことです。歓声に沸く街を見て、大道芸が街の活性化に果たしている役割を再認識しました。

【11月18日(土)】

- 午前9時 ●横浜農業協同組合磯子支店農業まつり
- 午前10時 ●金沢共同溝シールドマシン到達式

金沢区幸浦地区の国道357号地下で建設が進められていた金沢共同溝約2.3キロが貫通しました。共同溝は外壁直径5.45メートルという巨大トンネルで、この中に下水が流れ、電力や通信のケーブルが走ります。平成7年の阪神淡路大震災では、水道、電気、通信などのライフラインにも大きな被害が出ましたが、神戸共同溝内に収容されていたライフラインは無傷だったそうです。完成すれば、周辺地区の皆さんの強い味方になります。

【11月21日(火)】

- 午前10時30分 ●中田宏横浜市長来室
- 正午 ●自民党副幹事長会議
- 午後3時 ●2008年開港都市サミット誘致議員連盟、塩崎官房長官へ要望
- 午後3時30分 ●同議員連盟、麻生外相へ要望
- 午後4時20分 ●同議員連盟、尾身財務相へ要望
- 午後6時 ●洋光台連合自治町内会総理大臣賞受賞祝賀会
- 自民党神奈川県連政経文化パーティー
- 午後7時30分 ●中川昭一政務調査会長懇談会

洋光台連合自治町内会は、洋光台駅前の防犯活動拠点を中心に、青色回転灯を装備した住民の車による巡回や情報発信などを行い、地域ぐるみで防犯活動を展開。さらに防災・景観保全・環境保全にも尽くし、総理大臣賞に輝きました。お祝いの席は、宮嶋修会長(78)ら地区の人たちの笑顔があふれました。私も「皆さんの心をさらにひとつにつなげ、街に対する愛、家族に対する愛をはぐくんでいただきたい」とお祝いの言葉を述べました。



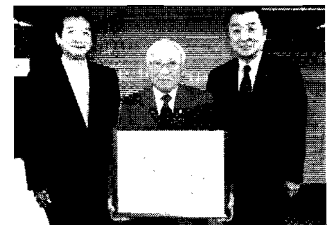
▲10/29「磯子まつり」開会式。今年で30回目を迎えました



▲11/3 第1回磯子区綱引き大会。約40チームが力を競いました



▲11/18 横浜農業協同組合磯子支店農業まつりで。収穫の秋に感謝して



▲11/21 洋光台連合自治町内会が総理大臣賞受賞した祝賀会で

永田町日記 沖縄県知事選・仲井真さん当選に娘たちの“内助の功”!

11月も自民党副幹事長として、知事選応援のために“南奔北走”でした。7日は福島県、8、9日は沖縄県。沖縄県知事選では自民・公明両党推薦の仲井真弘多さんが見事当選を果たしました。沖縄は基地問題を抜きには語れませんが、今回の知事選では「基地にただ反対するだけでいいの。景気・雇用も重要な緊急課題だ」という県民の声を肌で感じました。仲井真さんが当選したのも、この点を強くアピールしたからでしょう。印象的だったのは、ちょっと見はいかつい顔の仲井真さんに常に同行していた2人のかわいいお嬢さん。「候補者の娘」というタスキをかけた彼女らが堂々と父の政治信条を訴える姿が有権者の心をうったのも勝因のひとつだったのではないのでしょうか。(純)

まつもと じゅん プロフィール▶昭和25年4月11日、横浜市中区生まれ▶本町小、聖光学院中・高、東京薬科大卒、薬剤師▶本町小PTA会長、横浜JC専務理事、野毛大道芸実行委員長など街づくりや地域活動に取り組む▶平成2年～横浜市議(3期)▶平成8年～衆議院総選挙で初当選。専門を生かして医療・福祉・年金などに全力投球。介護保険制度を創設した責任者の一人▶平成12年～総選挙で次点落選▶平成15年～衆議2期目。総務大臣政務官に就任。▶平成17年～衆議3期目。総務大臣政務官に再任。三位一体改革、行財政改革など新しい日本の国の形をつくるため奮闘。▶平成17年11月～議院運営委員会理事、国会対策委員会副委員長として国会運営等に取り組む。▶平成18年9月～安倍内閣で自民党副幹事長に